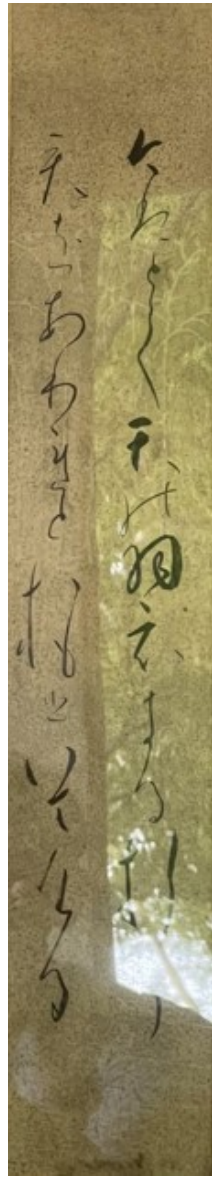


かぐや姫との別れ

(竹採公園蔵 和歌二編)

【かぐや姫懸歌】けんか

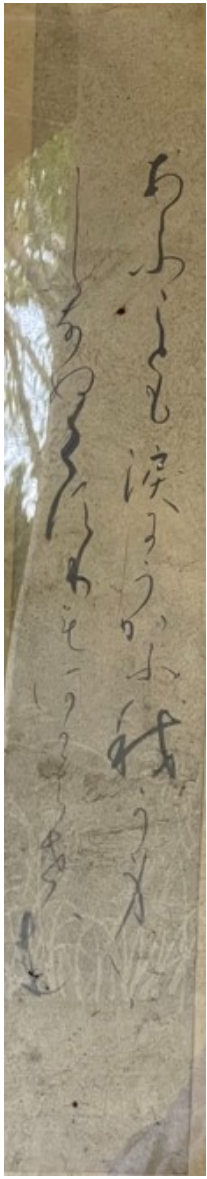


今はとて 天の羽衣 着る折ぞ
君をあわれと おもいでける

ああ、今はもう天あめの羽衣はごろもを着て月に帰るところです。

あなたを忘れることになるとは、悲しくさびしいです。

【帝返歌】へんか



あふことも 涙にうかふ 我が身には
しなぬくすりも 何にかはせん

私の涙に浮んで来るあなたにしか もう会えないのですから、
あなたから頂いた不死の薬は、もう、なんにもなりません。

令和三年七月二十六日 富士市「竹採塚」にて

大中臣正比呂 拙訳